

□ 要請番号 (JL23318A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
グアテマラ	B131 廃棄物処理		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

大統領府企画庁

2) 配属機関名 (日本語)

アティトラン湖およびその周囲の環境を維持するための管理局(AMSCLAE)

3) 任地 (ソロラ県サンペドロララグーナ市) JICA事務所の所在地 (グアテマラシティ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (船+バスで約4.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先であるAMSCLAE(アティトラン湖およびその周囲の環境を維持するための管理局)はパナハチャエル市に事務所を有しており、アティトラン湖およびその周囲の環境を維持するため、アティトラン湖周辺の15市に対し各種調査・分析・助言を行なっている。同局の調査によればアティトラン湖周辺の11市で180箇所もの不法投棄場が確認されており、これらは年々増加傾向にある。年間予算は約1万7千米ドル。青年海外協力隊(JV)の受け入れ経験はないが、JICAの帰国研修員が2名在籍。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

アティトラン湖はグアテマラ有数の観光地であるが、AMSCLAE環境衛生課の調査によれば、同湖及びその周辺地域の固体廃棄物は年間約31,000トンに上る。このうち約5.6%の固体廃棄物は直接湖に捨てられていると推測されている。このような状況を少しでも改善するため、AMSCLAEは各市と協力をしながら活動を続けているが、現在も継続的にゴミが捨てられている状況は変わっておらず、アティトラン湖の水質汚染による近隣住民の健康被害や観光収入低下は深刻である。特に衛生埋立方式によるゴミ処分場については、その運営管理方法に精通した人材が不足していることから、JVの要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 衛生埋立方式によるごみ処分場の現状分析とより良い運営方法の提案
- ゴミの不法投棄場を閉鎖するための技術的助言
- 任地の廃棄物問題を改善するための代替案の提案
- 衛生埋立処分場をまだ有していない市を訪問して、不活性廃棄物の適切な分解を促す方法の提案

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

フィールド調査用のGPS、カメラ、その他情報機器、事務用品、車両

4) 配属先同僚及び活動対象者

環境衛生課長(30代男性、C/P、建築士)
環境衛生課職員3名(24-35歳)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語**【資格条件等】**

[免許/資格等]： ()

[学歴]： (大卒) 備考：同僚のレベルに合わせるため

[性別]： () 備考：

[経験]： (実務経験) 3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (温暖冬季少雨気候) 気温： (10~25°C位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水源]： (安定)

【特記事項】

住居はグアテマラ人家族のホームステイとなる。

【類似職種】